



# 前澤給装工業株式会社

## 2021年3月期 決算説明会

確かな品質で豊かな未来につなぐ

本資料に掲載されている見通しは、現在入手可能な情報からの判断に基づいておりますが、様々な要因により変化することがあり、実際の業績を確約するものではありません。

---

1. 2021年3月期 決算概要

---

2. 2022年3月期 業績計画

---

3. 2022年3月期 方針等

---

# 1. 2021年3月期 決算概要

---

## 2021年3月期実績 増収・減益

### (給水装置事業)

- 新設住宅着工戸数の減少もあり、新設需要向けの販売が減少
- 前期実施した価格改定による利益率の改善効果等もあり、銅価格上昇の影響を吸収し、前期と同水準の利益を確保

### (住宅設備事業)

- コロナ禍において建築工事の中断・延期の発生、新設住宅着工戸数の落ち込みの影響を受けて継手や暖房部材等の販売が減少したものの、2020年3月に連結子会社化した前澤リビング・ソリューションズ株式会社の業績が加わり、増収増益

## 2022年3月期予想

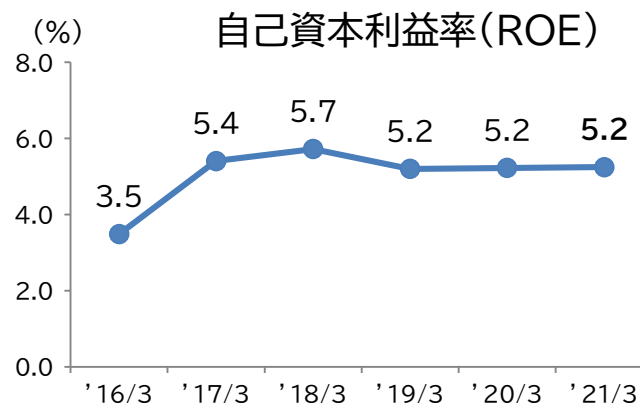
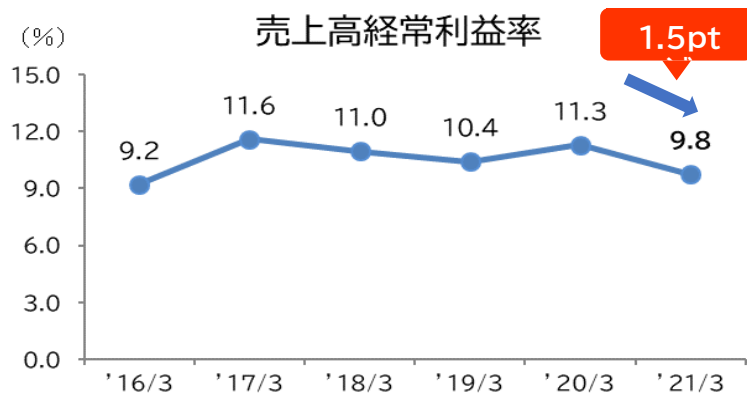
- 売上高276億円、営業利益20億90百万円、経常利益21億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益14億60百万円を予想
- 現在、主要原材料である銅価格が2011年以来の高値水準で推移  
減益の見通し

## ◆業績

計画達成、目標とする経営指標「売上高経常利益率10%以上」は未達

単位:百万円

	2020年3月期		2021年3月期		前期比		計画比		
	実績	構成比	実績	構成比	金額	%	計画	増減額	増減率(%)
売上高	24,077	-	27,512	-	+3,435	+14.3%	27,000	+512	+1.9%
営業利益	2,662	11.1%	2,598	9.4%	▲63	▲2.4%	2,400	+198	+8.3%
経常利益	2,722	11.3%	2,683	9.8%	▲38	▲1.4%	2,440	+243	+10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,789	7.4%	1,866	6.8%	+76	+4.3%	1,670	+196	+11.7%

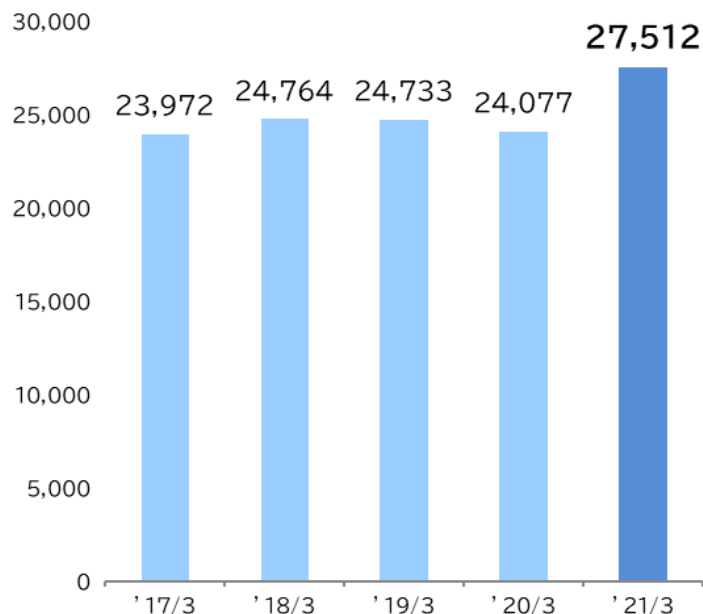


## ◆決算概要

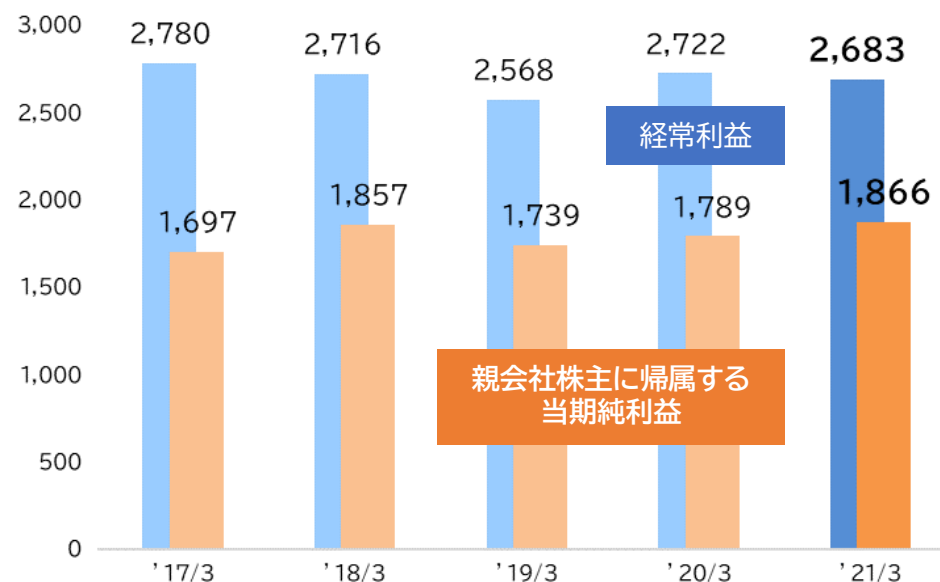
単位:百万円

単位:百万円

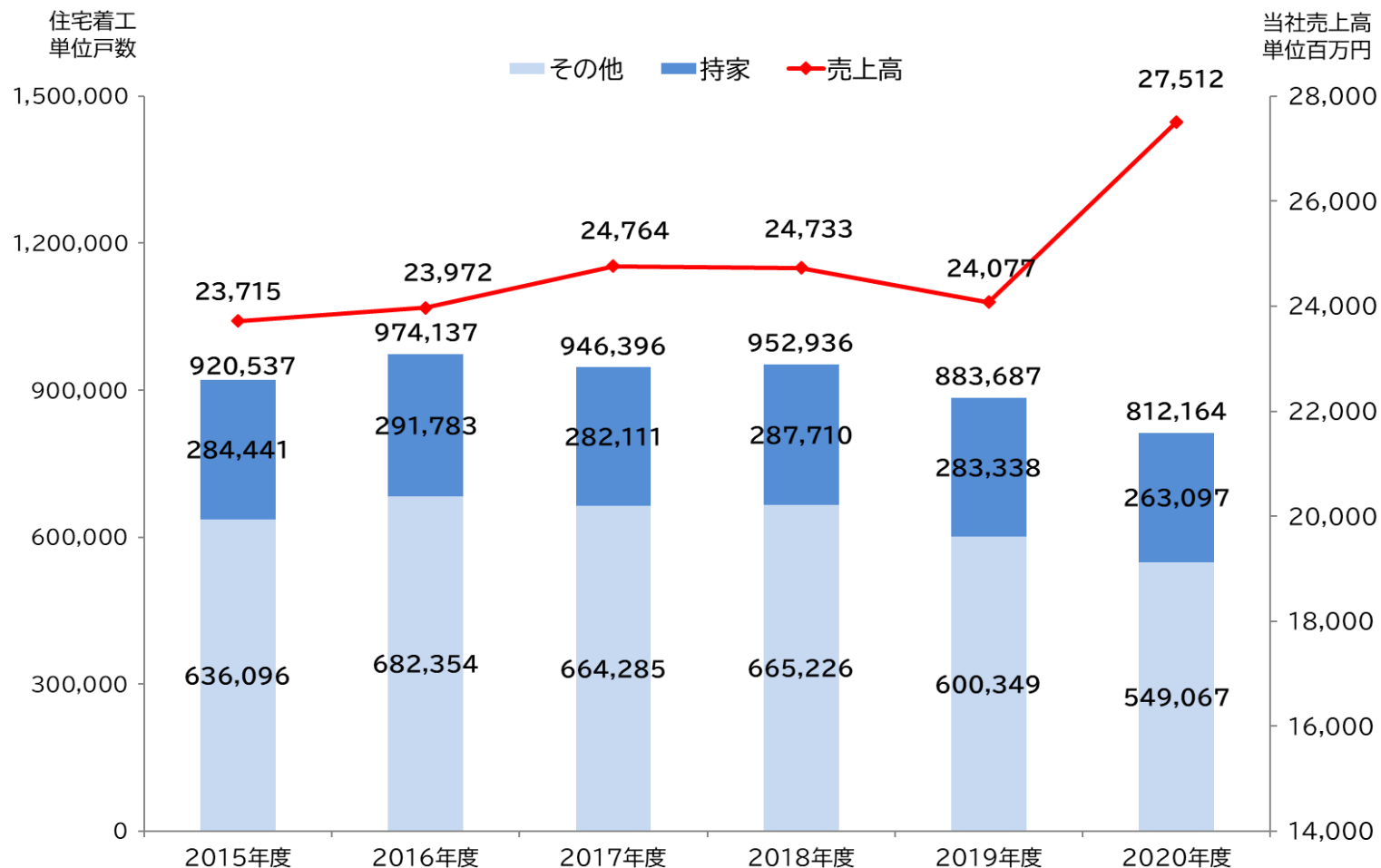
### 売上高推移



### 利益推移



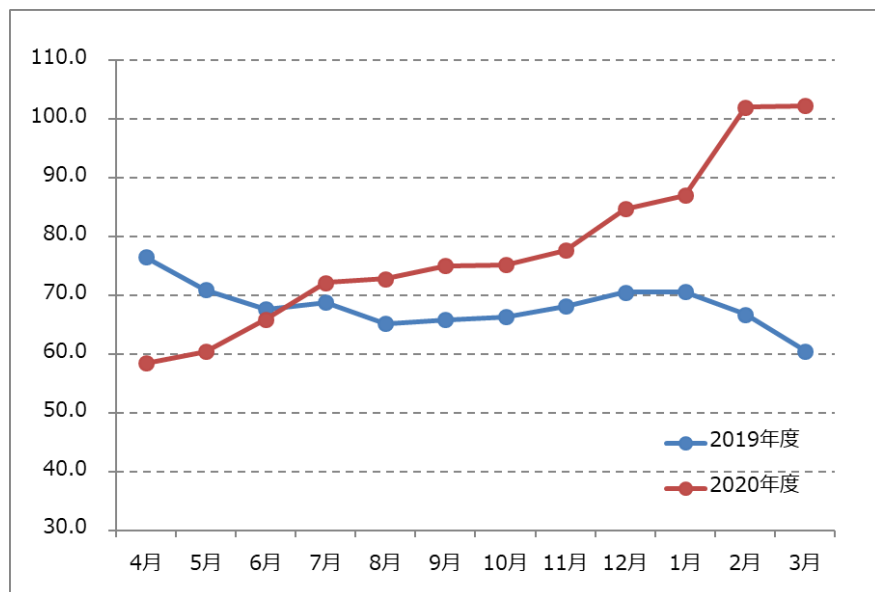
## ◆新設住宅着工戸数の推移



## ◆主要原材料の動向

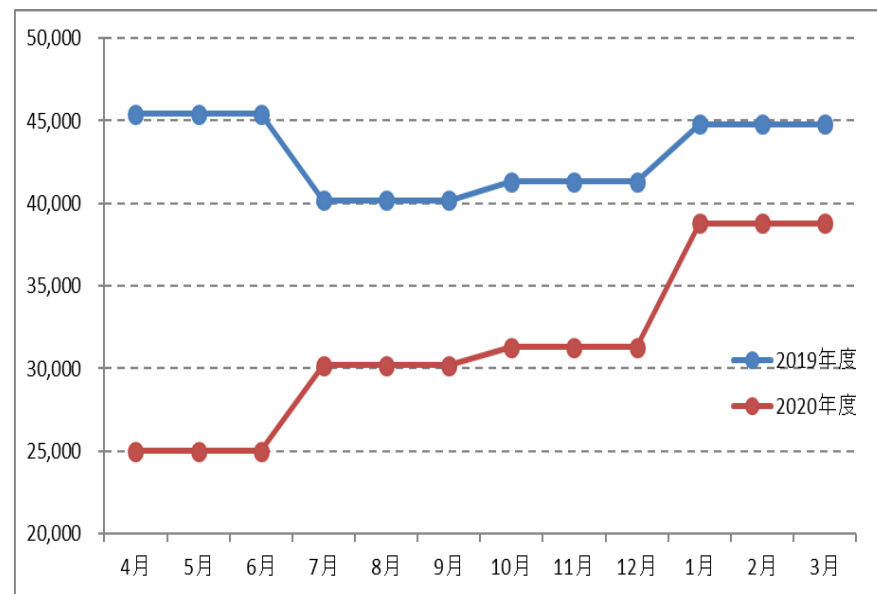
<銅建値の月平均価格>

単位:万円/t



<国産ナフサ 基準価格>

単位:円/kl





## ◆セグメント別の状況

### 21/3期より、報告セグメント区分を変更

業績管理区分の一部見直しに伴い、商品販売事業の一部と従来「その他」に含めていた連結子会社の業績を、「給水装置事業」および「住宅設備事業」に変更しております。

単位：百万円

(セグメント年間売上高)	2020年3月期	構成比	2021年3月期	構成比	前期比	
給水装置事業	17,325	72.0%	15,743	57.2%	▲1,581	▲9.1%
住宅設備事業	6,161	25.6%	11,046	40.1%	4,885	+79.3%
商品販売事業	2,288	9.5%	2,359	8.6%	71	+3.1%
調整額	▲1,697	▲7.0%	▲1,636	▲5.9%	60	—
合計	24,077	100.0%	27,512	100.0%	3,435	+14.3%

(セグメント年間利益)	2020年3月期	セグメント 利益率	2021年3月期	セグメント 利益率	前期比	
給水装置事業	5,059	29.2%	4,891	31.1%	▲168	▲3.3%
住宅設備事業	1,189	19.3%	2,084	18.9%	894	+75.2%
商品販売事業	67	2.9%	23	1.0%	▲43	▲65.2%
調整額	▲3,654	—	▲4,399	—	▲745	—
合計	2,662	11.1%	2,598	9.4%	▲63	▲2.4%

## ◆貸借対照表の状況

単位:百万円

	2020年3月期末 実績	2021年3月期末 実績	前期比
流動資産	28,006	29,794	+1,787
固定資産	13,597	14,210	+612
資産合計	41,604	44,004	+2,400
流動負債	6,057	6,709	+651
固定負債	811	883	+71
負債合計	6,869	7,592	+723
純資産合計	34,735	36,412	+1,676
負債純資産合計	41,604	44,004	+2,400
自己資本比率	83.5%	82.7%	-0.8pt

◆ 流動資産	+1,787
現金及び預金	+1,335
受取手形及び売掛金	+254
電子記録債権	+508
棚卸資産	△556
◆ 固定資産	+612
投資有価証券	+1,084
有形固定資産	△215
無形固定資産	△190
◆ 流動負債	+651
電子記録債務	+418
買掛金	+252
◆ 固定負債	+71
繰延税金負債	+188
退職給付に係る負債	△105
◆ 純資産	+1,676
利益剰余金	+460
その他有価証券評価差額金	+442
自己株式	+710

## ◆キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

	2020年3月期	2021年3月期	前期比	
現金及び現金同等物(期首)	12,706	12,069	▲636	◆ 営業キャッシュ・フロー +3,233
同上の換算差額	▲25	23	+49	税金等調整前当期純利益 +2,740
営業活動による収入	2,228	3,233	+1,005	減価償却費 +687
投資活動による支出	▲2,030	▲1,278	+752	売上債権・仕入債務増減 △90
フリーキャッシュフロー	197	1,955	+1,757	たな卸資産 +559
財務活動による支出	▲808	▲700	+108	未払消費税等 +423
現金及び現金同等物(期末)	12,069	13,348	+1,278	法人税等の支払額 △880
				◆ 投資キャッシュ・フロー △1,278
				投資有価証券の取得 △602
				有形固定資産の取得 △561
				◆ 財務キャッシュ・フロー △700
				配当金の支払額 △482
				自己株式の取得 △211

## 2. 2022年3月期 業績計画

---

## ◆業績計画

単位:百万円

	2021年3月期 実績	構成比	2022年3月期 計画	構成比	前期比	
売上高	27,512	-	27,600	-	+87	+0.3%
営業利益	2,598	9.4%	2,090	7.6%	▲508	▲19.6%
経常利益	2,683	9.8%	2,160	7.8%	▲523	▲19.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,866	6.8%	1,460	5.3%	▲406	▲21.8%

## ◆セグメント別の計画

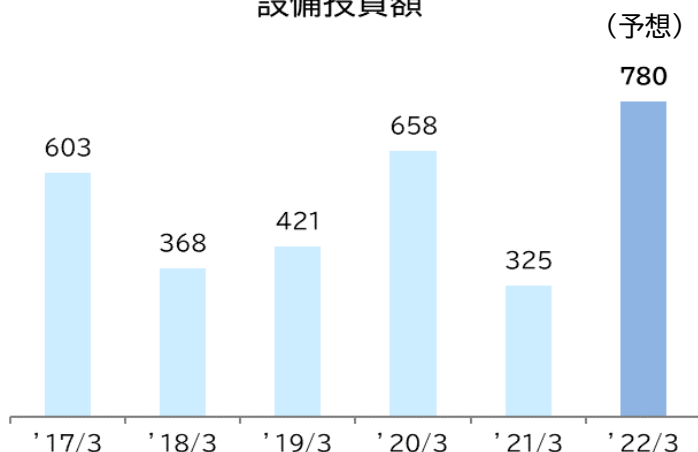
単位:百万円

セグメント年間売上高	2021年3月期 実績	構成比	2022年3月期 計画	構成比	前期比	
					絶対値	比率
給水装置事業	15,743	57.2%	15,800	57.2%	+56	+0.4%
住宅設備事業	11,046	40.1%	11,150	40.4%	+103	+0.9%
商品販売事業	2,359	8.6%	2,300	8.3%	▲59	▲2.5%
その他	▲1,636	▲5.9%	▲1,650	▲6.0%	▲13	—
合計	27,512	100.0%	27,600	100.0%	+87	+0.3%

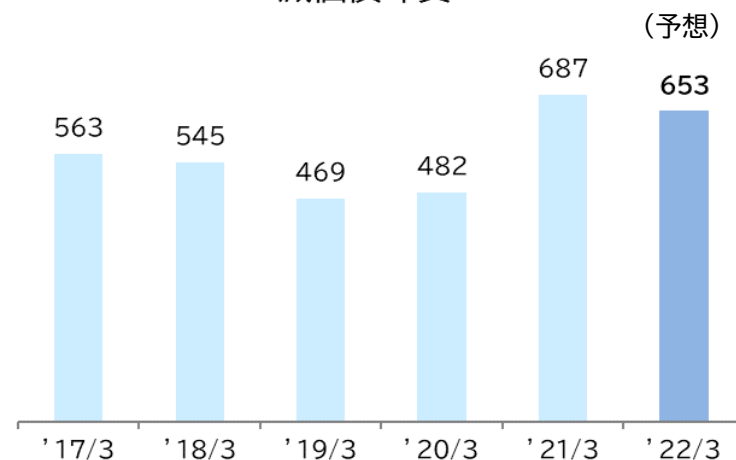
## ◆設備投資・減価償却費・研究開発費推移

単位:百万円

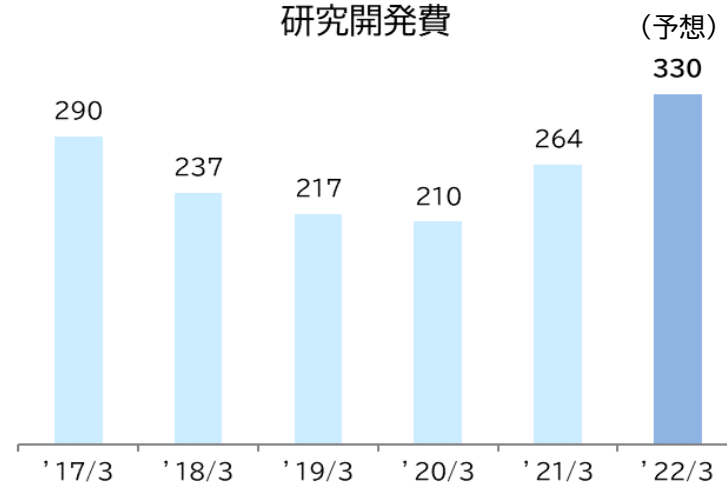
設備投資額



減価償却費



研究開発費



### 22/3期の主な設備投資

- ✓ 基幹システム・サーバ(販売・生産)の統合・更新
- ✓ 生産設備の更新投資(NC旋盤他)
- ✓ 生産用金型

780百万円程度を計画

### 3. 2022年3月期 方針等

---



## ◆事業方針



## ◆事業方針

### 住宅設備事業

※構成比は報告セグメント区分の調整額を除いて計算しております。

### 給水装置事業



QSジョイントクリア



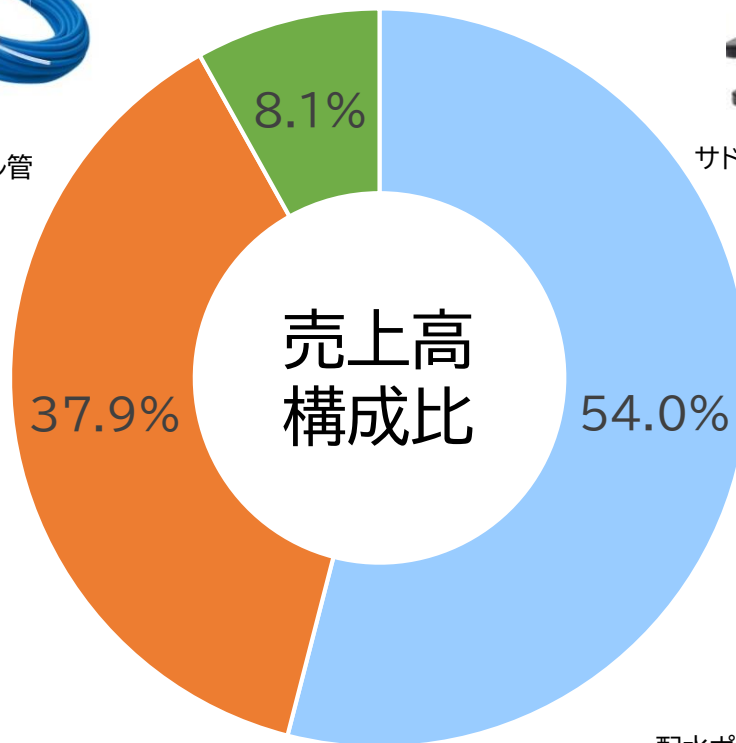
イーグル管



給水・給湯プレハブ配管



高断熱ペアチューブ



■ 給水装置 ■ 住宅設備 ■ 商品販売



サドル分水栓ろくろ一体型



Pワン継手 S型



伸縮継手



配水ポリエチレン管用サドル分水栓



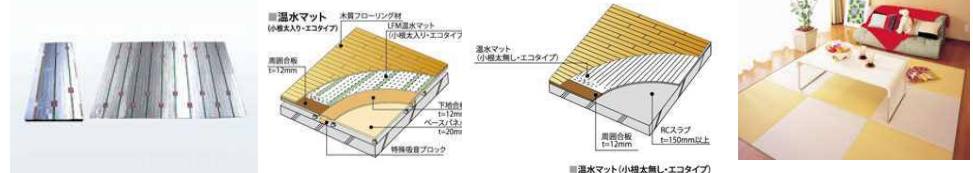
KMP継手 S型

## ◆前澤リビング・ソリューションズ株式会社の株式取得(子会社化)について

商号	前澤リビング・ソリューションズ株式会社
本社所在地	東京都目黒区鷹番二丁目14番2号
創立	2020年1月
資本金	3億1千万円
従業員数	45名
事業内容	温水マットを中心とした 床暖房・住環境部材の販売
事業所	関西支店、北海道営業所、中部営業所、 西日本営業所

### 主な取扱い製品

#### 温水床暖房



温水マット(小根太入り)

温水マット(小根太無し)

床仕上材

#### 温水配管部材



ヘッダー・継手

エネファーム用配管部材

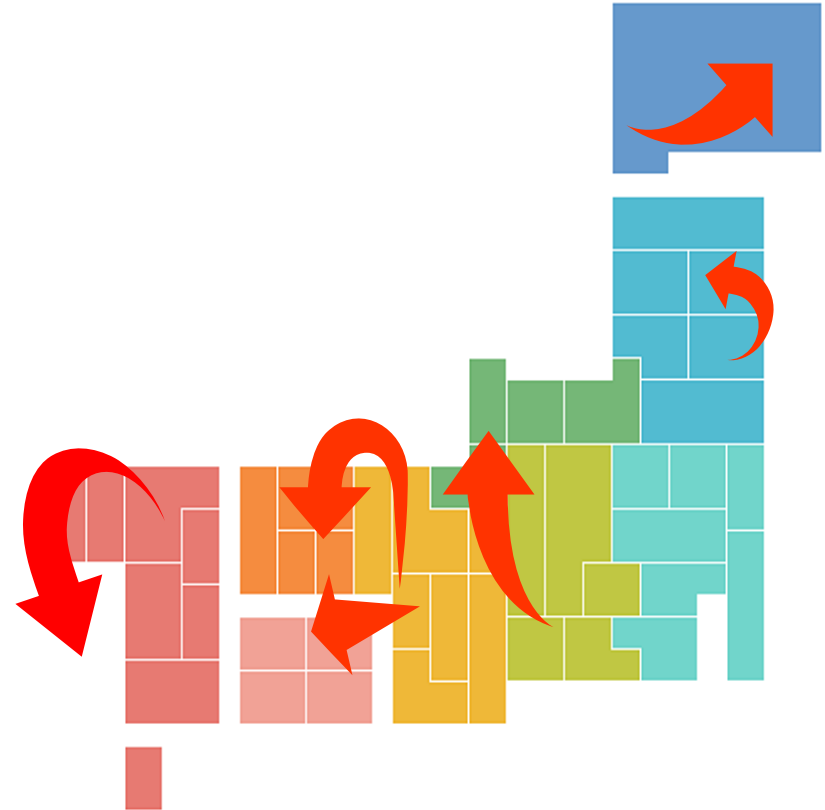
防火区画関連部材

## ◆前澤リビング・ソリューションズ株式会社とのシナジーに向けて

- 全国展開している当社ネットワークを活かし、販売地域を拡大
- 当社の製造技術との融合でコストダウン

### これまでの取り組み

- ✓ グループ内の営業効率化
- ✓ 暖房設備店に対する給水・給湯部材の拡販
- ✓ 西日本地区ガス会社への温水マットの拡販
- ✓ 東北地区ヒートポンプメーカー向け温水マットの販売体制強化
- ✓ 北海道支店内にMLS販売拠点を設置



◆事業方針

## 1. 給水装置事業の積極的展開

顧客ニーズに合わせた新製品の開発

- ①低層アパート向け製品
- ②配水ポリエチレン管用製品

## 2. 住宅設備事業の拡大

非住宅物件への販路拡大

- ①空調設備用製品
- ②ロードヒーティング用製品

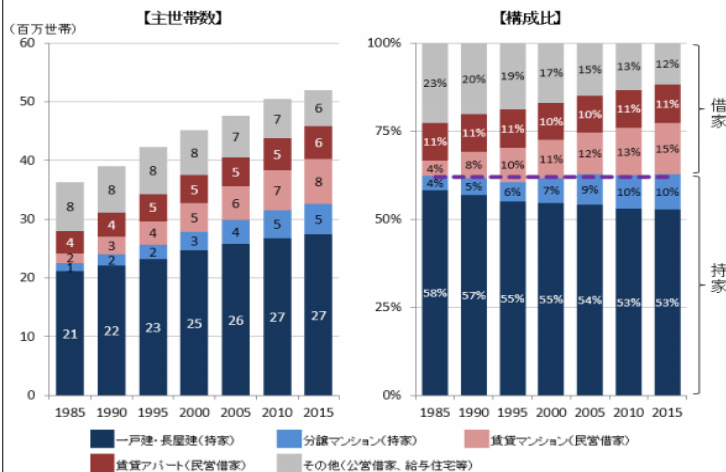
## ◆1. 給水装置事業の積極的展開

顧客ニーズに合わせた新製品の開発 ①低層階アパートへの対応

### 現状

- 2階建ての低層階アパートの構成比は住宅着工数の10%で安定推移
- メータ廻りの省スペース化のニーズが高まり、複数の水道メータを一体化した複式メータセット「まとメータ2連・3連」を発売

### 住宅構成の推移

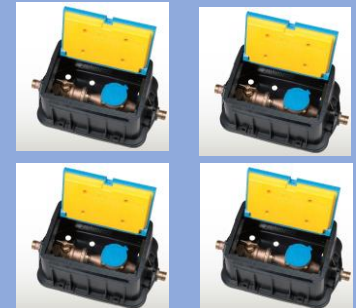


### まとメータ4連タイプの開発

#### 複式メータセット まとメータ4連タイプ

1つのメータボックスにユニット化

4戸分のメータボックス



- 物件毎の景観に合わせ、蓋の色は5色から選べます。
- 2連・3連と組み合わせてあらゆる戸数の物件に対応可能



2連



3連

## ◆1. 給水装置事業の積極的展開

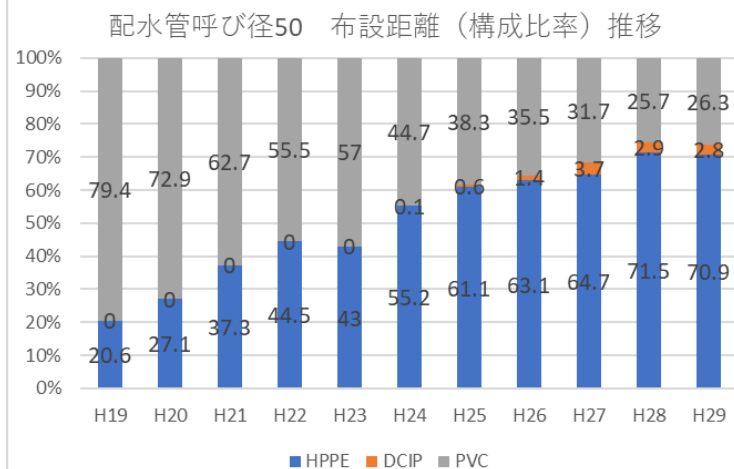
顧客ニーズに合わせた新製品の開発

②配水ポリエチレン管用製品

### 配水管呼び径50の布設状況

配水管呼び径50は耐震管である水道配水用ポリエチレン管が主流となっており、止水栓関連製品の事業体に応じた要望が高まっている

### 配水管φ50 主要3管種の布設推移



日本水道協会雑誌 呼び径別検査実績より

### 対応製品の一例

プレイングート回転継手一体  
締過ぎ防止タイプ  
(HPPE×PE二層管404606-50-Y)

管との接合はメカニカル式



短管が一体になっており  
融着接合に対応



青銅製仕切弁(片挿し口)



プレイングート



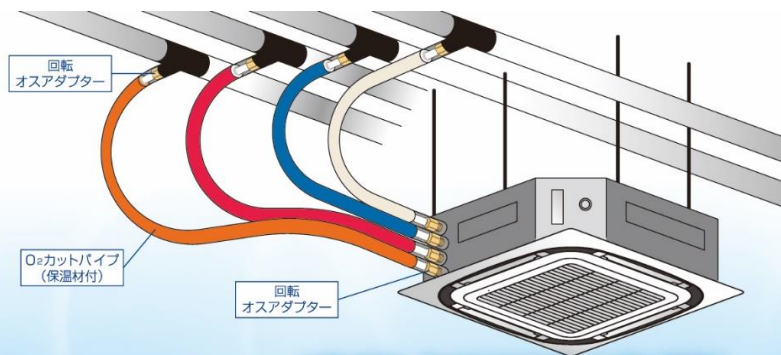
埋設用仕切弁

## ◆2. 住宅設備事業の拡大

### 非住物件への販路拡大 ①空調設備用製品

#### ファンコイルユニット用O<sub>2</sub>カットパイプ

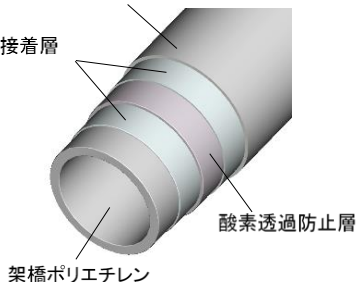
4管式ユニットの配管イメージ



#### O<sub>2</sub>カットパイプ5層の構造

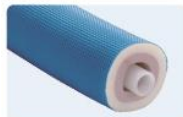
架橋ポリエチレン

接着層



#### 4管路用として保温材4色対応

●ブルー



●アイボリー



●レッド



●オレンジ



#### O<sub>2</sub>カットパイプの特徴

- 酸素を透過しない構造により、機器の錆を防止
- 従来の金属管と比較してコストダウン、施工省力化が可能
- パイプ、継手の工場プレハブ化が可能

#### 現場施工の一例





## ◆2. 住宅設備事業の拡大

### (2) 非住物件への販路拡大 ②ロードヒーティング用製品

#### ロードヒーティングのしくみ

- 寒冷地における道路・駐車場などの地中に埋設した樹脂管に温水を通して効率的に融雪するシステム

#### 特殊ナイロンパイプの開発

- 樹脂管は、コンクリート埋設用架橋<sup>®</sup>リフレイン管に加え高温施工になるアスファルト埋設に適した耐熱性の高い特殊ナイロン<sup>®</sup>パイプを新規開発



#### 現場施工例(東海北陸自動車道)



#### ロードヒーティング用継手類



#### 主なロードヒーティング工事納入実績

本栖湖舗装工事  
籠坂改修工事

東海北陸自動車道  
西湖舗装工事

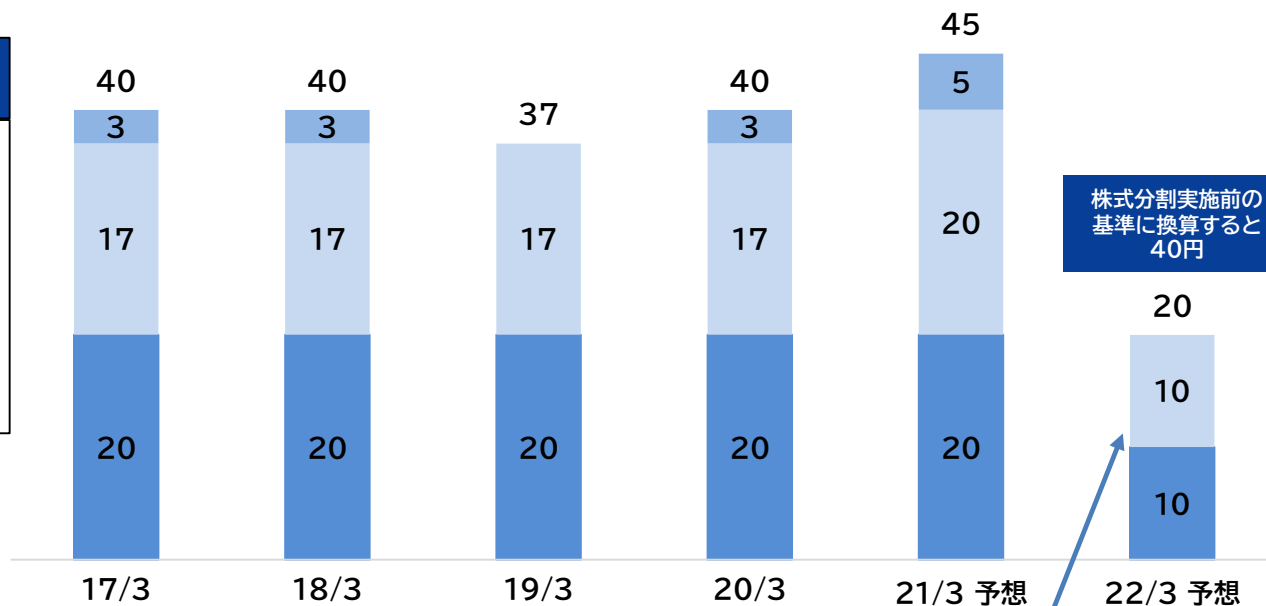
## ◆株主還元の推移

### ■配当金および自己株式の状況

#### 株主還元方針

安定した配当還元を維持しつつ、利益成長機会とのバランスや資本の効率性を踏まえた機動的な自己株式取得等の実施により、中長期的に株主還元の強化を目指すことを基本方針としております。

■ 期末配当 ■ 中間配当 ■ 特別配当・記念配当



※2021年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

配当性向	28.2	25.2	24.6	25.4	27.1	30.8
総還元性向	46.1	44.2	42.2	46.7	38.3	
取得株数	20万株	20万株	16万株	19万株	10万株	
取得価額	305百万円	356百万円	308百万円	383百万円	211百万円	

◆会社指針

# Quality, Safety & Originality

～弊社を「人」にあてはめると～

**Quality**

品質は  
人格であり

**Safety**

安全は  
協調であり

**Originality**

独創は  
改革である